



議会だより

2019

よしか

第51号



元気な サクラマスっ子



かきのき保育所の園児たち

▶平成31年度第1回定例会・主な議案	……2頁	▶一般質問・最近の主な議会動向	……10~13頁
▶平成31年度当初予算・主な概要	……3頁	▶発議・陳情・要望	……14頁
▶主な質疑	……4~6頁	▶現地調査	……15頁
▶臨時会・全員協議会	……6~8頁	▶継続審査報告・編集後記	……16頁
▶議案の議決結果表	……9頁		

平成31年 第1回(3月)定例会

～平成31年度当初予算が成立～

「携帯通信網を活用した防災情報システム」や「朝倉公民館建設」などを含む平成31年度一般会計が賛成多数により可決されました。

平成31年第1回定例会が3月4日から3月20日までの17日間開催されました。31年度当初予算をはじめとする議案29件、発議3件、要望1件を審議し、初日の町長施政方針を受け、11名が一般質問に立ち、町政の課題について議論を展開しました。

審議の内容は、4ページ以降です。

主な議案

▽予算 17件

*平成30年度吉賀町水道事業会計補正予算 (第3号) ほか6件

*平成30年度吉賀町一般会計補正予算 (第8号)

*平成31年度吉賀町水道事業会計予算

*平成31年度吉賀町興学資金基金特別会計予算 ほか6件

*平成31年度吉賀町一般会計予算

▽条例の制定・一部改正等 7件

*吉賀町教育振興計画推進協議会設置条例の制定 ほか1件

*吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例 ほか3件

*蔵木中・六日市中統合検討委員会設置条例及び蔵木中・六日市中統合準備委員会設置条例を廃止する条例

▽契約 2件

*請負契約の変更 2件

▽その他 7件



吉賀町立蔵木中学校の閉校式



蔵木中学校の閉校記念碑

31年度当初予算・主な概要

【平成31年度当初予算】

一般会計	71億6,854万円	特別会計	23億2,106万円
30年度当初	64億1,015万円	30年度当初	23億7,033万円
水道事業会計	4億383万円	水道事業会計は、地方公営企業会計のため、収益的支出額と資本的支出額の合計を記載	
30年度当初	3億9,320万円		

【平成31年度当初予算の主な概要】

【歳入】

(単位:千円)

費目	予算額	内 容
町 税	568,917	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税
地方交付税	3,148,787	普通交付税 (2,848,455) 特別交付税 (300,332)
国庫・県支出金	1,168,984	国庫支出金 (661,533) 県支出金 (507,451)
繰入金	615,699	特別会計繰入金 (14,000) 基金繰入金 (601,699)
町 債	1,279,173	過疎債 (884,900)、臨時財政対策債 (58,173) 緊急防災・減災事業債 (226,500)

【歳出】

(単位:千円)

費目	事業名	予算額	内 容
	吉賀町版地方創生事業費	2,941	総合戦略推進事業
		84,757	安心して働ける「しごと」をつくる
		91,866	「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる
		140,666	新しい「ひとの流れ」をつくる
		333,115	「協働と連携」により住みよいまちをつくる
総務費	地域公共交通対策費	51,349	生活バス等への補助、公共交通網再編計画策定等
民生費	社会福祉総務費	69,210	吉賀町社会福祉協議会運営費、シルバー人材センター等への補助等
〃	障がい者福祉施設整備事業費	304,009	障がい者総合支援センターの整備
〃	子ども・子育て支援事業費	328,549	法人保育所運営費負担金及び障がい児保育等への補助等
衛生費	地域医療対策費	216,224	支援計画に基づく六日市病院への補助等
農林水産業費	農業振興総務費	64,650	新規就農者への支援、地産地消の推進、地域商社の設立等
〃	土地改良補助整備事業費	108,800	農地環境整備事業、水利施設への長寿命化・防災減災対策
土木費	橋梁新設改良補助事業費	178,395	国庫補助を活用した緊急性の高い橋梁の補修や架け替え
〃	公営住宅等整備事業費	117,235	沢田団地の整備、中原団地の解体等
消防費	防災施設等整備事業費	226,529	携帯通信網を活用した防災情報システムの整備
教育費	公民館施設整備事業費	159,709	朝倉公民館の整備
公債費	長期債元金	716,182	町債償還元金

主 な 質 疑

請負契約の変更

(障がい者総合支援センター
ター建築工事)

庭田議員

◆ パンの任註をつくる設備の計画があるが、需要等の見込みは。

【保健福祉課長】

西日本を中心とした自治体でこのような設備を手掛けていないので将来性がある。



建設中の障がい者総合支援センター

地区集会所の指定管理の指定
自治会館の指定管理者の指定

大多和議員

◆ 地区集会所の条例や自治会館の条例を改正して指定管理料の公平な扱いは出来ないのか。

【町長】

自治会館の成り立ちが、地区集会所と違い、現在のような制度設計になった。議会議決の条例に基づいて今日に至っているが、地域住民との調整も必要であり、状況を見ながら対応をする。

反対討論

大多和議員

◆ 地区集会所の維持管理費等を自治会で負担しているが、そうではない地区があり、平等な扱いでないことが判明した。

町長は、5年間の指定管理は変えず、今後2年間で行政と住民の負担について、不公平のな

いようにしたいというが、合併以来13年たっている。指定管理期間を2年間とし、その間に確実に不公平のない制度にすべきである。

賛成討論

中田議員

◆ 集会所と自治会館の利用目的に大きな差がないのに、自治会館には指定管理料が支払われている。

合併以来、不公平が続いているが、町長から今後2年間をめぐりに、地区集会所、自治会館のあり方について、内容を見直すとの発言があり、これを信頼し賛成とする。

教育振興計画推進協議会
設置条例の制定

桜下議員

◆ 学校の統廃合についても、協議会の中で進捗状況や見直しについて検討すると理解しているか。

【教育長】
教育振興計画の中には、協議項目に入っていない。

平成30年度一般会計補正
予算(第8号)

河村(隆)議員

◆ 繰越明許費でアユの種苗生産施設事業が遅れているが、説明を求める。

【産業課長】

昨年10月に発注、完成は今年8月になる。

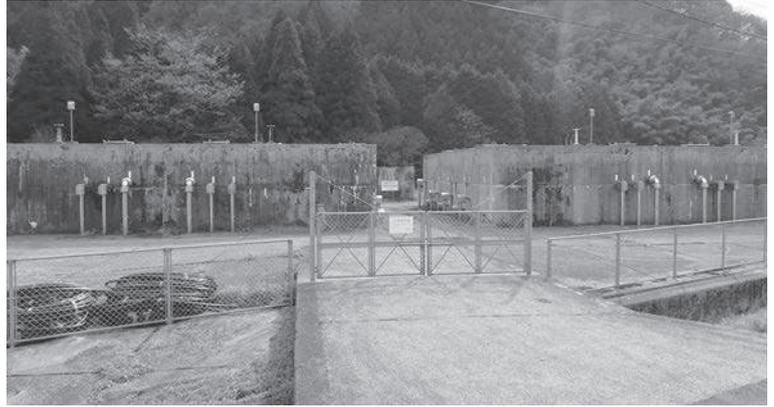
平成31年度水道事業会計

三浦議員

◆ 40年以上たっている管の布設替えは、将来的に何年かかり、どのくらいの予算が必要か。

【建設水道課長】

40年経過したものを順次交換して行った時、おおよそ33億円の金額が発生する。次々と更新していくという事はまず不可能と考えている。



水道事業関連施設

桑原議員

◆ 緊急改善事業5297万円とあるが、本管の改修が主な事業と理解していいか。

【建設水道課長】

水道管路の改善で基本的には本管を布設替えしていくが、枝線の給水管についても可能な限り替えていく。

平成31年度一般会計予算

〔吉賀高校支援事業費〕

中田議員

◆ 吉賀高校下宿補助金96万円があるが、一戸当たりいくらになるのか、下宿先は希望に沿うような数になったのか。

【総務課長】

2万円×12カ月×4人で96万円を予算計上。下宿先については、実際の入学生の動向は流動的などころがあり、わからない。



サクラマス交流センター

〔エネルギー対策事業費〕

大庭議員

◆ 太陽光発電のソーラーパネルには有害物質が含まれている。廃棄するとき町の対策は。

【税務住民課長】

国の方でも、使えなくなった太陽光発電の処分方法は指針が出ていないが検討はしていく。

〔地域医療対策費〕

河村(申)議員

◆ 昨年11月26日付で学園、病院より要請が出たが、31年度の予算には通年の支援としての予算しか計上されていない。要請に答えるよう支援を上乘せすべきでは。

【町長】

病院には、地域医療確保緊急対策事業補助金1億9400万円計上している。30年度から向こう3年間、特別交付税1億5000万円に設備更新経費を上乘せしたものである。学園としての自助努力や議会の判断を見

て対応したい。

〔商工振興総務費〕

松蔭議員

◆ 地域商業等支援事業補助金、創業チャレンジ支援事業補助金が減額になっているが、内容はどのような補助金か。

【産業課長】

県の補助要綱に基づいて、町も同額を負担するというもので、基本的には、地域の商業が維持活性化していくため、開業や事業の承継等に補助をするものである。

〔小学校教育振興費〕

藤升議員

◆ 複式学級の講師についての詳細説明を。

【教育次長】

31年度より学年別指導方式の複式学級となる小学校がある。単式、複式を繰り返す学校の授業に対応する非常勤講師である。

反対討論

庭田議員

◆ 医療及び貴重な情報発信施設であるアンテナショップ等の経営に危機が迫っている。

防災無線整備は重要であることは認識しているが、多額な投資は、町の財政状況をみると、負担の少ないシステムを選択すべきだ。

河村(由)議員

◆ 防災無線整備が悪いとは思わないが、平成34年11月までに事業が完了すればよいのに、多額な予算を投じて31年度に実施する必要があるのであるのか。

厳しい財政の中で基金を取り崩して積み上げた71億円の予算の再考をするべきである。

賛成討論

藤升議員

◆ 防災無線整備の携帯通信網方式は、技術の進歩が目覚ましい。初動体制をどうするかが第一

であり、24時間以内に要援護者を助ける仕組み作りをするためにも重要である。

小学校の複式学級教員配置については、行き届いた学びを保障するものとして評価する。

平成31年

第1回臨時会

【平成31年1月31日】

議案

- ・ むいかいち温泉「ゆ・ら・ら」の指定管理者の指定
- ・ 老人福祉センター「はとの湯荘」の指定管理者の指定
- ・ 平成30年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)

「むいかいち温泉「ゆ・ら・ら」の指定管理者の指定

《主な質疑》

藤升議員

◆ 「ゆ・ら・ら」「はとの湯荘」を直営で運営しない理由はなにか。

【副町長】

民間のノウハウを活用する方が効率的と考えている。

大庭議員

◆ 「ゆ・ら・ら」のプールを再開することになれば、指定管理料に加算されるのか。

【副町長】

新たな経費が必要となれば議会の議決が必要となる。

河村(由)議員

◆ 財政状況を考えれば、売却等も選択すべきである。

【町長】

あくまでも、指定管理者制度で管理する。



むいかいち温泉ゆ・ら・ら

第1回全員協議会

【1月31日】

議題

- ・ 公の施設の指定管理者の指定
- ・ 防災行政無線通信施設整備方針(案)
- ・ 休日当番医制度の廃止
- ・ エポックかきのきむらの経営状況と町の対応方針

【主な質疑】

桑原議員

◆ 今回整備する防災無線のシステムは双方向での通話が可能であると理解していいのか。

【総務課主任主事】

通話ができるのではなく、こちらから情報が送れるというシステムである。

議 題

- ・ エポックかきのきむらの経営状況と町の対応方針
- ・ 平成30年度中期財政計画
- ・ 地区集会所等の状況
- ・ 島根県水道事業の連携に関する検討会報告
- ・ 吉賀中学校改修工事
- ・ 真田グラウンド駐車場とサブグラウンド用地の取得
- ・ 蔵木中学校施設の今後の利用

【2月15日】

第2回 全員協議会



廿日市のアンテナショップ

【主な質疑】

桜下議員

◆ サッカー場にサブグラウンドがなぜ今、必要なのか。経緯の説明を求める。

【教育長】

真田地区は、圃場整備事業が実施される。事業が終わってからでは用地の取得が難しいので、今が良いタイミングだと判断した。

中田議員

◆ 平方メートルあたり1200円から1300円は今の相場からして高すぎるのではないか。

【教育長】

公共用地の取得になるので実際の相場に比べるとかなり高額となる。

河村(隆)議員

◆ 近隣の自治体でも、大きなサッカー場の施設が計画されている。将来を見越した投資をすべきである。

【教育長】

関連施設の影響は把握していないが、維持管理費はなるべく安く抑えていきたい。



真田グラウンド



工事中の相生橋

議 題

- ・ 指定管理者の指定
- ・ 防災行政無線通信施設整備方針(案)
- ・ 平成31年度朝倉保育所の運営
- ・ 六日市医療技術専門学校の要請書への対応
- ・ 地域商社について
- ・ 米のブランド戦略と認証
- ・ 森林環境譲与税と今後の森林整備
- ・ 請負契約の変更(相生橋)
- ・ 朝倉公民館建築工事の概要

【2月27日】

第3回 全員協議会

【主な質疑】

庭田議員

◆ 防災無線整備は事業費・ランニングコストを含めると6億円という多額の予算である。利便性より信頼性を優先したシステムを選択すべきではないか。

【総務課主任主事】

将来のことを考えると、携帯通信網を活用する方が様々な面で利用価値が高いと判断している。



大多和議員

◆ 園児が一人なのになぜ朝倉保育所だけ継続するのか。期限を定めるべきである。

【保健福祉課長】

地域の人達と連携しながら継続に向けて取り組みを進めている。

三浦議員

◆ 六日市学園の要望に対し、財政的に支援が困難とする判断は、様々な影響を考えれば性急すぎるのではないか。

【町長】

決して軽々に判断しているわけではない。

第4回 全員協議会

【3月8日】

議 題

・ 六日市医療技術専門学校について

【主な質疑】

大庭議員

◆ 重富グループ撤退に伴い、六日市病院の医師2名が退職する。医師確保の見通しはあるのか。

【町長】

県や関係機関にしっかりと要

望活動をしていく。医療の灯を消すようなことは決してしない。

松蔭議員

◆ 今ある様々な支援をやめてでも学園や病院の支援をするくらいの決断が必要である。

【町長】

今必要なのは医師、医療従事者の確保である。そのことをしっかりとやる。

第5回 全員協議会

【3月13日】

議 題

・ 防災行政無線通信施設整備方針(案)
・ むいかいち温泉「ゆら・ら」の運営状況
・ 地区集会所・自治会館のあり方

【主な質疑】

河村(由)議員

◆ 防災施設整備は事業費で約4億円の予算を使う。一社だけで競争相手がいないのにどうやって入札をするのか。

【町長】

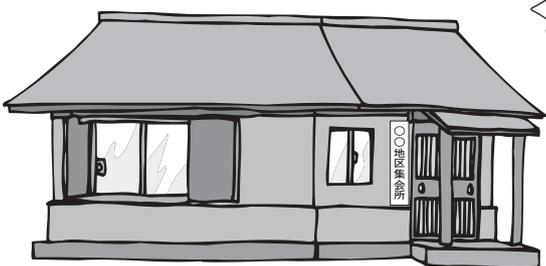
結果的には特定の業者となつたが発注方法は様々ある。

藤升議員

◆ 地区集会所・自治会館施設条例の改正が必要である。

【町長】

2年間のスケジュールで調整をしていく。



議案の議決結果

『議決結果表』 (議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第1回臨時会	議案第1号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正
	議案第2号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第4号	吉賀町老人福祉センターの指定管理者の指定
	議案第5号	平成30年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)
	議案第6号	請負契約の変更(障がい者総合支援センター建築工事)
第1回定例会	議案第7号	請負契約の変更(相生橋側道橋架設(上部工)工事)
	議案第8号	平成30年度吉賀町水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第9号~第13号	平成30年度吉賀町興学資金基金特別会計補正予算(第1号)ほか特別会計4件
	議案第14号	平成30年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)
	議案第17号	吉賀町教育振興計画推進協議会設置条例の制定
	議案第18号	吉賀町森林環境譲与税基金条例の制定
	議案第19号	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第20号	吉賀町税条例等の一部を改正する条例の一部改正
	議案第21号	吉賀町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正
	議案第22号	蔵木中・六日市中統合検討委員会設置条例及び蔵木中・六日市中統合準備委員会設置条例の廃止
	議案第23号	平成31年度吉賀町水道事業会計予算
	議案第24号~第30号	平成31年度吉賀町興学資金基金特別会計予算ほか特別会計6件
	議案第32号	吉賀町過疎地域自立促進計画の変更
	議案第33号	吉賀町営住宅条例の一部改正
議案第34号	平成30年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第5号)	

【賛成多数で可決した議案】

○賛成 ●反対

	議案番号	件名	松蔭	三浦	桜下	桑原	中田	大多和	河村(隆)	大庭	河村(由)	庭田	藤升	
第1回臨時会	議案第3号	吉賀町健康増進交流促進施設おいかいち温泉ゆ・5・5の指定管理者の指定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第15号	吉賀町地区集会所の指定管理者の指定(仲の原地区集会所以外の51箇所)	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	
	〃	吉賀町地区集会所の指定管理者の指定(仲の原地区集会所)	○	除斥	○	○	○	●	○	●	○	○	○	
	議案第16号	吉賀町自治会館の指定管理者の指定(木部谷・大野原自治会館以外の4箇所)	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	
	〃	吉賀町自治会館の指定管理者の指定(木部谷・大野原自治会館)	○	●	○	○	○	●	○	●	○	除斥	○	
	議案第31号	平成31年度吉賀町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
	要望第2号	六日市医療技術専門学校の存続に向けてのお願い(要請書)	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※除斥(じよせき)とは、議員が当該議案の利害関係者であるため、審議に加わることができないことをいう。

【賛成少数で否決した議案】

○賛成 ●反対

	議案番号	件名	松蔭	三浦	桜下	桑原	中田	大多和	河村(隆)	大庭	河村(由)	庭田	藤升
第1回定例会	発議第1号	核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書(案)	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○
	発議第2号	吉賀町長等の給与等に関する条例の一部改正	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○
	発議第3号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

学校の統廃合について



桜下 善博

質問 合併後、小・中学校の新築、耐震補強工事を含む改修工事に約24億円の公費が投入されている。特に大きいのが、七日市小学校の新築で、約13億円費やした。

吉賀町の将来を担う子どもたちのための、教育費は理解できるが、財政面からも議論すべきだ。

31年度も、吉賀中学校の全面改修工事に約1億7千万円計上されている。近い将来、蔵木、朝倉小学校の全面改修工事が予想される。これまででの例でいくと2、3億円は必要と試算される。

地方交付税の減額により、ますます厳しくなる町の財政からみて、学校の統廃合は子どもの減少のみで議論されてきたが、財政面からも町の将来を考え議論すべきではないか。

一人暮らしの高齢者の安全安心は



桑原 三平

質問 町の人口は、2月1日現在6281人で65歳以上の方が2027人、高齢化率は43%である。

被災地では一人暮らしの方が多く、孤独死した方もいて、高齢者の孤立を防ぐ取り組みが急務だとの報道もある。

町は被災地ではないが、独居の高齢者の方が増えたのではないかと状況についてどのよう把握しているのか。

町長 民間事業者の緊急システムを活用した方が現在、19名いる。導入の際、補助金制度があり維持管理の経費にも助成がある。

防災システムの事業においても独居老人の方に対しての支援も検討していく。

町長 一人暮らしの高齢者の方の状況把握は、民生児童委員・社会福祉協議会や医療機関・保健師等職員により情報の把握を行っているが、個人の事情もあるので難しいが増加傾向



小さな農家を守る施策を



庭田 英明

質問 唐突にアンテナショップの休業が公表された。

生産者、消費者への影響を考えれば、第三セクターの筆頭株主である町の責任は大きい。早急に再開すべきである。

再質問 エポックかきのきむらが経営する菌床工場は老朽化によって、良質な菌床の生産ができない施設になっている。

生産者の所得の向上のためにも思い切った投資を行うべきではないか。

町長 エポックかきのきむらの経営状況をみながら、31年度中に方向性を決定したいと考えている。

町長 情報を共有し、指導や助言などを行う体制に反省すべきところはあるが、経営責任は経営者にある。

再開に向けて、アンテナショップを運営する引き受け組織を構築



災害時の備蓄と橋の架替など



大多和 安一

質問 災害時に必要な食料などの備蓄品の種類と数量はどれくらい保管されているのか。

町長 備蓄食料と生活関連品・備蓄資機材に大別されるが、非常食として米やパン等の主食のほか、缶詰等を準備しており、1200食程度、毛布200枚程度ほかにテントや簡易ベッド・簡易トイレ等多岐にわたっている。

質問 栃木橋や台橋など非常に少ない利用の橋の架替が計画されている。費用対便益を考慮すると別の方法があるのでは。

町長 健全度4と判定



された橋の早期対策が求められており、架替る事とした。

質問 (株)エポックかきのきむらのアンテナショップは、町が家主と賃貸契約をしていると聞いたが。

町長 廿日市市の店舗は、町が借り主となっている。

外国人増加に向けた町づくり



三浦 浩明

質問 近年、外国人の受入人口が増加しており、中国5県での比率も本町は上位を示している。

町長 国の方針である外国人改正入管法の施行により、今後増加するものと思われる。

企業等にとっても経済効果を望めるが、生活環境面等に違いがあり各企業と行政による協議会の立ち上げ等、語学教育、入居や税務に係る環境整備対策が必要ではないか。

町長 町としても外国人の方々と共生している町づくりを基本とし、言葉、文化や習慣の違いから問題が発生することも予想されるので、行政情報の確実

な伝達と要望など行政窓口の充実を図っていく必要がある。

また、外国人受入れの法人などに対して有効な支援策について協議していきたい。

島根県では外国人住民の生活や語学支援、雇用する事業者への支援などの共生事業に対し予算を増額し、新たな事業も導入している。益田広域事務組合においても協議会を立ち上げ、日常生活、教育、就労、医療、危機管理等についての対応を計画している。

これらの事業を有効活用し、具体的にスタッフも入れ対応していく。

施政方針について



河村 由美子

質問 施政方針は決意表明ではなく、4年間総合戦略に使った費用に対して、政策の見直しや検証が重要である。

その事業で人口増加や地域経済が好循環してきたかが問題ではないか。

町長 最終年度を迎え、成果として人口の減少率は緩やかに推移している。

施策の中には、成果が形となって表れるには時間を要するものがある。必要に応じて見直しを行い、真に住民生活や町の活性化に繋がる施策を展開していく。

質問 医療を優先すべきでは六日市学園、六

日市病院から、経営支援要請書が提出された。町長は、現時点での単独支援は不可能と回答し、その後、六日市学園は3年後には閉校、病院は、医師不足を解決しながら経営努力をすることのこと。

将来的に救急医療等を考えると町民の不安は計り知れない。優先すべきは医療の堅持ではないか。

町長 学園、病院に限らず、課題があるので、特化してということにはならない。町民が安心して暮らし、この町で育つてよかったといえる町づくりをしたい。

まずは、医師確保に取り組み。

大気汚染について



大庭 澄人

質問 杉花粉、黄砂、PM2.5いずれも微粒子であり、有害物質の蓄積により体調不良を起す、中でもPM2.5は個人で察知が不可能である。

観測機器を設置し、屋外放送で発生日の注意喚起を行うべきでは。

町長 島根県が行っているマニュアルで十分対応できる。町独自の設置は考えてない。

子育て支援について

質問 税金の減少、交付金の削減、各企業体の経営不振、それに伴う補助金の拡大、高齢化現象に伴う年金の減少、貧困の拡大、医療費、福祉費の増大など、経済環境は厳しく、あら

ゆる分野で削減努力が求められている。

保育料・給食費、高校生までの医療費の無償化等の子育て支援は重要だが、各方面の要望、施策等課題は山積みである。

一定以上の所得のある方の経済的支援は廃止を判断する時期ではないか。

町長 平成27年からの人口ビジョンで一定の成果を上げている。

要因に所得制限を設けない子育て支援によるものが大きいと考えているので、無償化の制度を続けながら、財源の活用方法を検討して行く。

公共交通について



河村 隆行

質問 公共交通の課題は、「いかに高齢者が利用しやすいか」という報道もある。

新しい仕組みを構築、いろいろな抜本的対策をするときは、町長の強いリーダーシップが問われている。

地域を守っていくために、公共交通問題をしっかりと対応し、高齢者にも優しいまちであるということを、表明し、発信してほしいと思うが。

町長 私が目指すのは、使い勝手がよくて効率も高い公共交通にしたということ、少し時間をかけているが、まさに本気で取組みたいということ、今事業を進めているところ

である。

今まで続けてきたことを、短時間で変えるのは大変で、少し時間が必要と考えている。



空き家対策について



中田 元

質問 空き家は安全性、防災、衛生、景観上周辺住民に与える影響は大きく、地域の活力や魅力が損なわれる。

近所の空き家が崩れ落ちた、危ないと思っていたが現実起こった、夜中だから良かったとの声を聞き、調査した結果約200戸、その内約49戸の「特定空き家」があった。

空き家調査中に近隣の方が、特定空き家は本当に危険で景観が悪い、本気で取り組んで欲しいとお話される方が大勢いた。

町として、いつまでも放置しておくわけにはいかないと考える。建築物を解体し更地にする、税金の負担

が多くなると聞くが本当か。

町長 町としても、空き家を放置しておけば防災・防犯、衛生上好ましくないと考えているので、法律に沿って対処しなければならぬと考えている。

「空き家対策協議会」の設立に向けて、早急に着手し、協議会において空き家対策計画を策定し、除却処分等の行政指導を行う。

住宅用地は更地に比べると固定資産税は減額されてるが、解体の進まない要因は処分費が高額であるからと考えている。

インフラの老朽対策、林業振興対策



松 蔭 茂

質問 水道施設及び橋梁の劣化がどのように進んでいるか、何力所くらいあるのか。

その対策、計画はどうか、町民にどのような知らされているか。

次に森林資源は大きな有用な資源である。

これを活用するには、路網が整備されると伐採や苗木の運搬、人々の山への出入りがしやすくなり観光や健康にもよい。

路網整備推進の一つとして町がバックホーを貸す考えはないか。

町長 平成25年度に初めて橋梁修繕計画が策定された。間接目視から直接目視による点検方式となり町道橋273橋、全橋の調査が

2巡した。

平成32年度までに個別の修繕計画を策定する。水道施設の老朽化対策については、送配水管を含めて約171kmある。

40年以上経過した管が約17kmある。

これらの管の更新費用が約33億円必要になる。老朽化対策については、県にも支援策を求め検討を進めていく。

林業振興対策については、31年度より森林環境譲与税を活用して森林の調査、路網整備を行っていく。道づくりについてはメートル当たり千円の助成がある。バックホーの貸し出しは今考えてない。

アンテナショップの閉店に伴う影響は



藤 升 正 夫

質問 エポックかきのきむら事業再生計画への対応方針のうち、産直事業における広島方面の販売のなかで、アンテナショップの閉店による生産者への影響をどうとらえているか。

町長 出荷者に与える影響は加工品を含め、平成29年の全体仕入額は3204万円、アンテナショップ分は2092万円、出荷者は185人。

卸販売の取扱量を増やし、新規の販路も開拓することで、再生計画では3千万円の売り上げを計上している。

地区防犯灯負担は 防犯外灯を設置しよう

質問 地区が管理する防犯外灯を設置しよう

としても、電気代の負担が多くなることから消極的にならざるを得ない実態がある。

一方で、町の所有ではない外灯の電気代を町が負担しているものもある。負担の在り方について検討を求める。

町長 児童生徒の通学の安全確保あるいは防犯対策を考えた結果、公共施設の周辺、具体的に六日市小学校からバス停までの区間について町の負担としている。

負担の在り方については、時間をもらい検討したい。



最近の主な議会動向

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
1月6日	吉賀町消防出初式	議 員	2月16日	石見西地区郵便局長会通常総会〔益田市〕	議 長
1月7日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長	2月20日	鹿足郡一部事務組合定例議会吉賀町津和野町	組 合 議 員
1月11日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長	2月21日	島根県町村議会議長会定期総会〔松江市〕	議 長
1月15日	広報広聴常任委員会	広報広聴委員・議長	2月22日	竹島の日記念式典〔松江市〕	議 長
1月22日	鹿足郡事務組合臨時議会〔津和野町〕	組 合 議 員	2月26日	益田地区広域市町村圏事務組合定例議会〔益田市〕	組 合 議 員
1月23日	総務常任委員会	総務委員・議長	2月27日	第3回全員協議会	議 員
1月26日	吉賀高等学校支援協議会設立総会	議 長	2月28日	議会運営委員会	議会運営委員・議長
1月31日	第1回臨時会	議 員	3月1日	吉賀高等学校卒業式	議 員
1月31日	第1回全員協議会	議 員	3月6日	六日市学園卒業式	議 員
2月5日	第8回議会活性化特別委員会	特別委員・議長	3月12日	各中学校卒業式	議 員
2月9日	公明党島根県本部新年賀詞交歓会〔浜田市〕	議 長	3月15日	各小学校卒業式	議 員
2月12日	第9回議会活性化特別委員会	特別委員・議長	3月17日	蔵木中学校閉校式	議 員
2月15日	第2回全員協議会	議 員	3月27日	柗丹後王国との包括連携協定式	議 長

発議・陳情・要望

発議

▼【発議第1号】

・核兵器禁止条例への調印・批准を求める意見書（案）

提出者 藤升 正夫

〔理由〕

核兵器のない世界を実現するため

本会議採決 否決（賛成少数）

▼【発議第2号】

・吉賀町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

提出者 藤升 正夫

〔理由〕

6月と12月の期末手当を均等配分するという昨年的人事院勧告に沿う改定を行うため

本会議採決 否決（賛成少数）

▼【発議第3号】

・吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について

提出者 藤升 正夫

〔理由〕

町長等と町議会議員の期末手当の年間支給率を同じにすると同時に、6月と

陳情

▼【陳情第1号】

・全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

陳情者 日米地位協定を見直す会

共同代表 難波 希美子

▼【陳情第2号】

・奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

陳情者 一般財団法人

日本熊森協会 会長 室谷 悠子

要望

▼【要望第1号】

・「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本

文書配布

12月の期末手当を均等配分するという人事院勧告に沿う改定を行うため
本会議採決 否決（賛成少数）

文書配布

国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」について

提出者 沖縄弁護士会

会長 天方 徹

▼【要望第2号】

・防災に関する要望書

提出者 栗木地区

代表世話人 三浦 健

〔理由〕

昭和47年の豪雨災害後、砂防堰堤が完成したが、豪雨災害時の山地崩壊跡があり今後崩壊の恐れがあるため



栗木谷川の現地調査

▼【要望第3号】

・アンテナショップの存続に関する要望書

提出者 生産者代表

齋藤 勝輝 外7団体

〔理由〕

「若者が定着する活力に満ちた住みよい吉賀町」をさらに発展させていくため

現地調査

日時 平成31年3月7日

◆(所在) 柿木村福川

(事業名) 栗木谷川・町道栗木谷線改良工事

(内容) 山地崩壊の恐れがあるため道路狭小のための拡張工事

◆(所在) 柿木村木部谷

(事業名) 台橋架替工事

(内容) 橋梁の経年劣化によるもの



柿木村木部谷の台橋

◆(所在) 真田

(事業名) 真田グラウンド駐車場・サブグラウンド整備工事

(内容) 駐車場拡張とサブグラウンド予定地

◆(所在) 立戸

(事業名) スポーツ公園テニスコート改修工事

(内容) テニスコートの経年劣化によるもの



スポーツ公園テニスコート

◆(所在) 六日市

(事業名) 障がい者総合支援センター施設整備事業

(内容) 施設の新築



障がい者総合支援センターの工事現場

◆(所在) 六日市

(事業名) 六日市集会所(旧役場)整備事業

(内容) 蔵及び土塀倒壊の危険性があるための解体撤去工事

◆(所在) 立河内

(事業名) 勝繁ヶ池緊急防災体制整備促進事業

(内容) 豪雨災害等による崩壊の恐れがあるため



立河内勝繁ヶ池

継続審査報告

・六日市医療技術専門学校の存続に向けてのお願い（要請書）

要請者

学校法人六日市学園

重富 亮

社会医療法人石州会

重富 亮

要請内容（原文のまま）

(1) 留学生の受け入れの取り組みなど新しい取組みにより31年度の介護福祉科の入学者状況については一定の改善が見込まれるものの、学園運営の継続にはなお多額の資金を必要としています。については町財政の厳しさについては重々承知しておりますが、学園の担う機能の重要性に鑑み、国県等の制度を活用した公的な財政的支援の検討をお願いしたいこと。

(2) 上記財政的支援の実現に向けては国県並びに議会及び町民の皆様のご理解をいただくことが必要となります。関係の皆様への説明についてご協力とご支援をお願いしたいこと。

(3) また留学生の受け入れなどの新しい取り組みには同時に日本語教員の確保等も必要としています。学校運営の改善に向けて人的資源確保の支援についてもお願いしたいこと。

総務常任委員会審査報告書

【意見】

(1) 当学校は、六日市病院の医療従事者確保のため必要であり、町として存続に向け積極的な取組みが必要である。

(2) 学校側に要請している改善計画を十分検証の上、今後の町財政状況を考慮し、財政支援をされたい。

(3) 外国人留学生受け入れの支援については、学校側の具体的な計画を受けて、早急な対応をされたい。

(4) 要請者に対し、住民と医療関係者の願いである医師確保に向け、重ねて協力を依頼されたい。

審査結果 採択（全員賛成）
 本会議採決 採択（賛成多数）

編集後記



桜の花も散り、新緑の季節を迎えようとしています。

この欄を、5名の編集委員で順番に担当してから早いもので1年がたち、小生に戻りました。

4月9日、町内の小中学校に加え、吉賀高校の入学式が挙行されました。やはり新入生には桜が一番だと思えます。

今年は改元の年で、4月1日発表された元号は「令和」です。5月1日の施行まで「平成」もあとわずかとなりました。

そして、平成最後の統一地方選が始まり、最初の投票日は4月8日で島根県では知事と県議が決まりました。

新知事におかれては、中山間地域の実情と課題を十分認識され、当町にとっても有利な施策を展開していただくよう期待したいと思います。

議会だよりをはじめ、議会活動に関してご意見ご要望をお願いします。

桑原 三平